

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 1 月 29 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (1/29 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h	16.1 °C	106.3 kPa abs	A系： 0.05 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.03 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.3 m ³ /h	25.7 °C	7.38 kPa g	A系： 0.07 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.05 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 0.0 m ³ /h	22.3 °C	0.23 kPa g	A系： 0.09 vol%
		給水系：約 5.5 m ³ /h			B系： 0.08 vol%

*1：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (1/29 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	12.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	11.2 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	9.5 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	16.3 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

・H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。なお、同作業は平成 26 年末頃まで行う予定。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→ 3号機 タービン建屋	1/26 9:33 ～ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設（雑固体廃棄物 減容処理建屋 [高温焼却炉建屋]）	1/24 14:37 ～ 移送実施中

・H26/1/29 9:57～ 集中廃棄物処理施設において、サイトバンカ建屋からプロセス主建屋へたまり水の移送開始

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (1/29 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中	運転中*1	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 当面は、3系列のうち2系列による運転を実施することで2系列運転の稼働率を向上させていくこととし、準備が整い次第、3系列の同時運転を実施予定。

< 5. その他 >

・H26/1/29～ 凍結管を設置するための削孔については、掘りあがった温度測定用の孔にカメラを挿入して、トレンチ内部状況を再度、慎重に確認したうえで削孔開始することとしていたが、トレンチ内部の状況が確認できたことから、凍結管を設置するための削孔を実施中。

- ・H26/1/29 10:40 頃 運用補助共用建屋1階において、所内共通ディーゼル発電機(D/G)B(現在点検停止中)に燃料を供給する燃料タンク関連の機器より軽油が漏えいしていることを当社社員が発見。発見後、直ちに軽油配管の弁を閉止したところ、漏えいは停止。発電所内の電源供給については、外部電源からの供給に加え、所内共通ディーゼル発電機(D/G)Aが待機状態であることから、問題はない。漏えいした軽油は、ドレンパン(約40cm×約60cm×深さ約2cm)からあふれ、コンクリート床面に約4m×約2m×深さ約1mmの範囲で溜まっていたが、11:48から12:41にかけて、吸着マットによる拭き取りを実施。なお、軽油の漏えい箇所は、所内共通ディーゼル発電機(D/G)Bの軽油ライン燃料フィルタ(運用補助共用建屋1階西側に設置)の空気抜きラインであることを確認。本件については10:51に双葉消防本部へ連絡しており、13:06に「危険物漏えい事象」と判断された。

【H4エリアタンク等からの水の漏えい関連】

<トピックス>

- ・H25/12/10 10:10～ 汚染水拡散の防止策として、H4エリア周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

<タンクエリアパトロール実績(1/28)>

- ・高線量当量率箇所(β+γ線(70μm線量当量率))は確認されず。
- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(漏えい確認ができない堰内溜まり水内を除く)を確認。
- ・汚染水タンク水位計による常時監視で、タンク水位に異常がないことを確認。

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・1,2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は1/29 0:00時点で約7,469m³ *集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・今回新たに採取した地下水観測孔No.1-10の全ベータ(1/27採取)の分析を実施。ガンマ核種については、濁度が高いことから測定していない。
[地下水観測孔No.1-10:1/27採取分] 全ベータ:78 Bq/L トリチウム:270,000 Bq/L
- ・その他の分析結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<移送関係>

- ・2,3号機東側に設置したウェルポイント(バキュームによる強制的な排水設備)からの地下水汲み上げおよび2号機タービン建屋への移送を適宜実施中。
- ・H25/12/11～ 1,2号機間護岸エリア地下水観測孔No.0-3-2でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。
- ・H26/1/29～ 1,2号機間護岸エリア地下水観測孔No.1-16で高い濃度の全ベータが検出されていることから、当該観測孔近傍に設置した地下水汲み上げ用の孔(No.1-16(P))からの地下水の汲み上げを開始予定。

【地下水貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

- ・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- ・H25/10/3～ 地下水貯水槽No.1の汚染範囲調査開始。
- ・H25/10/23～ 地下水貯水槽No.6において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/11/15～ 地下水貯水槽No.5において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/11/19～ 地下水貯水槽No.1において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/11/28～ 地下水貯水槽No.3において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/12/7～ 地下水貯水槽No.2において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/12/16～ 地下水貯水槽No.7において浮き上がり対策を実施中。

<地下水貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。